

# 令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

岸和田市教育委員会 学校教育課

## ■ 調査の概要

- 1 調査対象 小学校5年生、中学校2年生
- 2 調査期間 令和5年4月～7月
- 3 調査内容
  - (1)実技に関する調査

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフト ボール投げ
中学校								ハンド ボール投げ

- (2)児童生徒に対する質問紙調査(運動習慣、生活習慣等)

### 4 調査対象児童生徒数

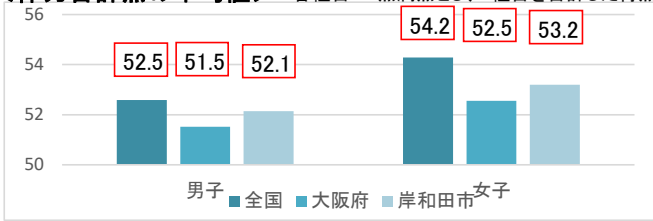
校種(学年)	岸和田市				大阪府	全国
	学校数	男子	女子	合計	合計	合計
小学校(5年生)	24校	683人	655人	1,338人	36,545人	896,521人
中学校(2年生)	11校	569人	596人	1,165人	32,028人	769,710人

## ■ 目次

- 調査の概要 ..... 1
- 実技に関する調査
  - ・全国及び大阪府との比較 <体力合計点/総合評価/各種目のT得点> ..... 2
  - ・岸和田市の経年変化 <各種目/体力合計点> ..... 4
- 児童生徒に対する質問紙調査
  - ・全国・大阪府との比較/岸和田市の経年変化/体力合計点との関連
    - <1週間の総運動時間> ..... 6
    - <「体育/保健体育の授業は楽しいですか」> ..... 8
- まとめと今後の取組み ..... 10

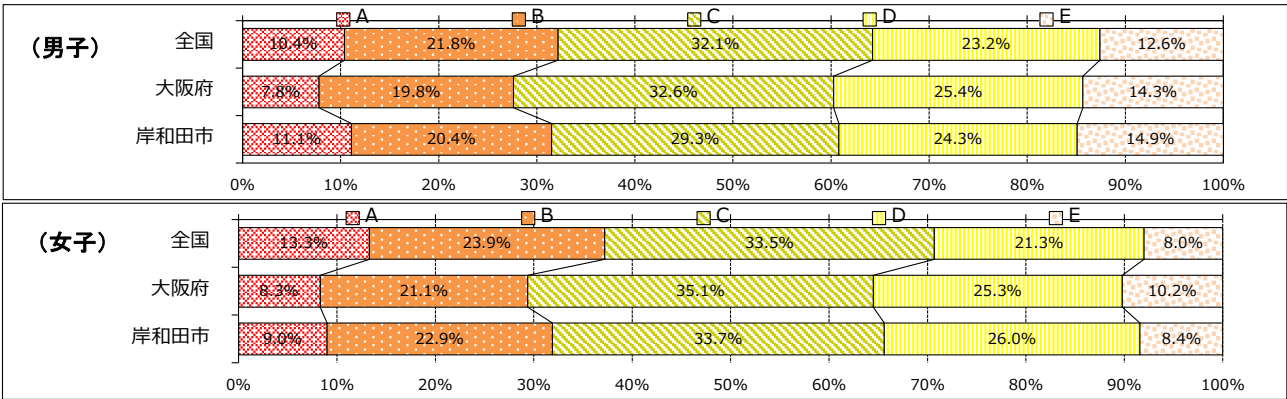
## 【小学校】全国及び大阪府との比較

＜体力合計点の平均値＞ 各種目10点満点とし、8種目を合計した得点を調査実施した児童数で除した数値



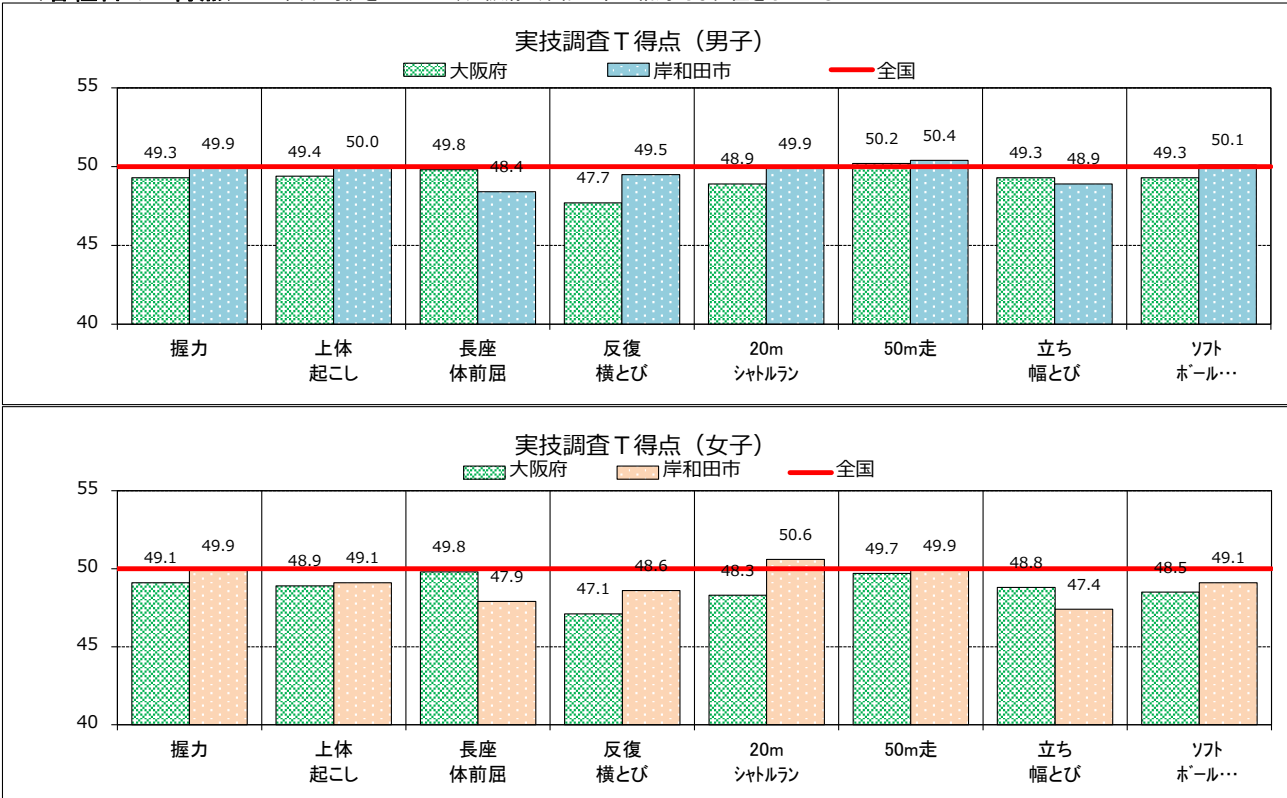
- ・全国平均と比較すると、男女ともに低い。
- ・府平均と比較すると、男女ともに高い。

＜総合評価＞ 体力合計点を5段階で評価。A:65点以上、B:58-64点、C:50-57点、D:42-49点、E:41点以下



○男女とも、全国と比較して、上位層(A, B)が少なく、下位層(D, E)が多い。(府と同様の傾向)

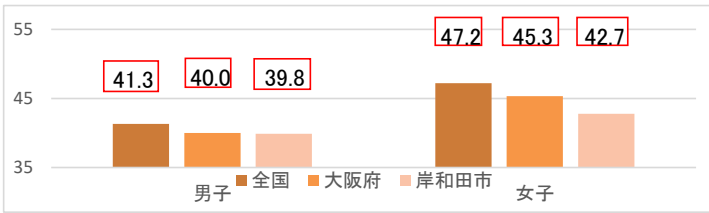
＜各種目のT得点＞ 全国平均値を50として、大阪府と岸和田市の相対的な位置を示したもの



- ・全国を上回った種目・・・男子「上体起こし」、「50m走」、「ソフトボール投げ」、女子「20mシャトルラン」
- ・府を上回った種目・・・男女「握力」、「反復横とび」、男子「20mシャトルラン」、女子「上体起こし」、「50m走」、「ソフトボール投げ」
- ・府を下回った種目・・・男女「長座体前屈」、「立ち幅とび」

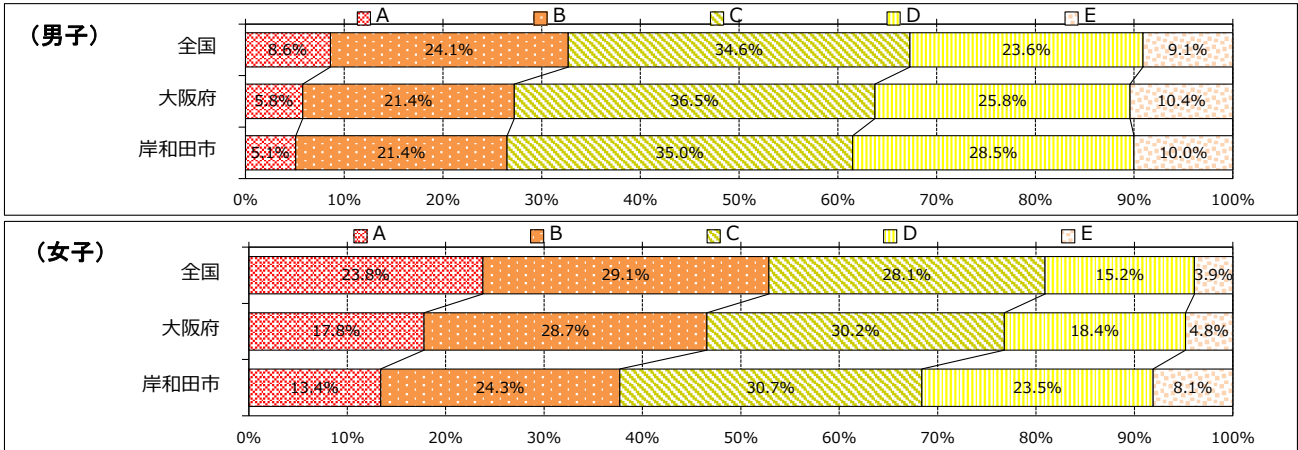
## 【中学校】全国及び大阪府との比較

＜体力合計点の平均値＞ 各種目10点満点とし、8種目を合計した得点を調査実施した生徒数で除した数値



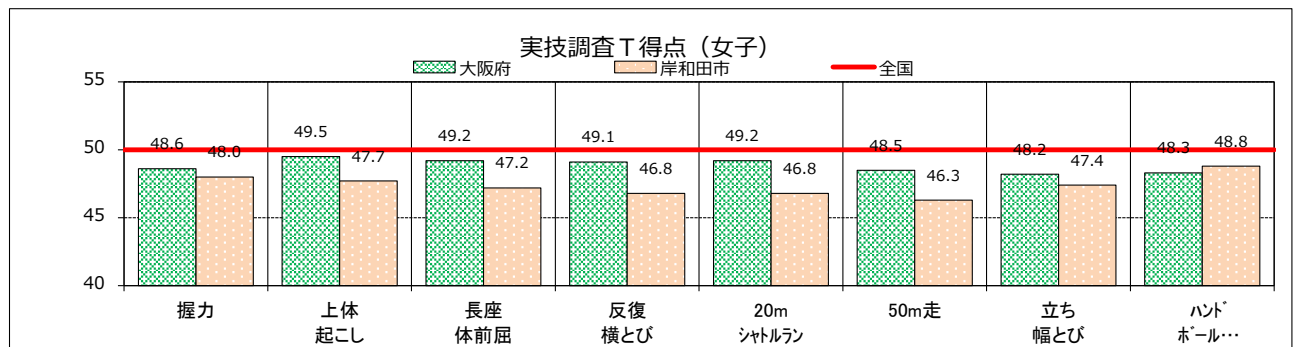
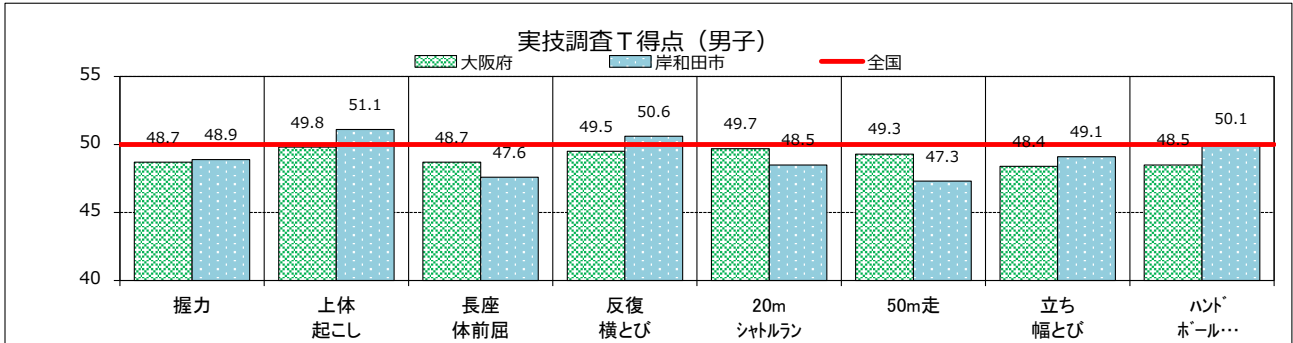
全国・府平均で比較すると、男女ともに低い。

＜総合評価＞ 体力合計点を5段階で評価。A:57点以上、B:47-56点、C:37-46点、D:27-36点、E:26点以下



○男女とも、全国と比較して、上位層(A, B)は少なく、下位層(D, E)は多い。(府と同様の傾向)

＜各種目のT得点＞ 全国平均値を50として、大阪府と岸和田市の相対的な位置を示したもの

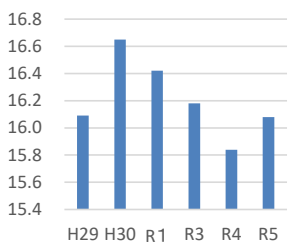


- ・全国を上回った種目・・・男子「上体起こし」、「反復横とび」、「ハンドボール投げ」
- ・府を上回った種目・・・男子「握力」、「立ち幅とび」、女子「ハンドボール投げ」
- ・府を下回った種目・・・男女「長座体前屈」、「20mシャトルラン」、「50m走」  
女子「握力」、「上体起こし」、「反復横とび」、「立ち幅とび」

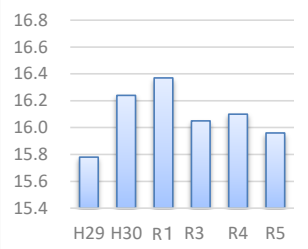
【小学校】＜岸和田市の各種目の経年変化＞

握力(kg)

● 男子

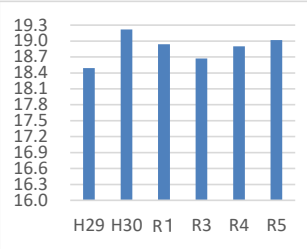


● 女子

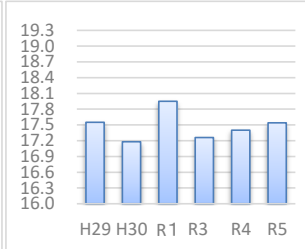


上体起こし(回)

● 男子

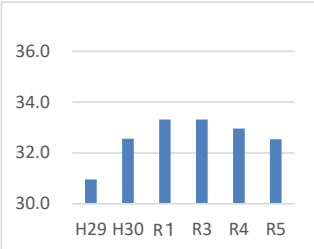


● 女子

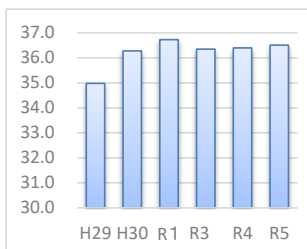


長座体前屈(cm)

● 男子

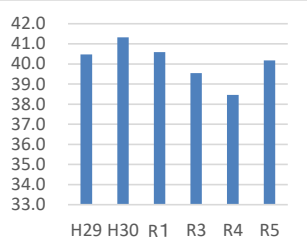


● 女子

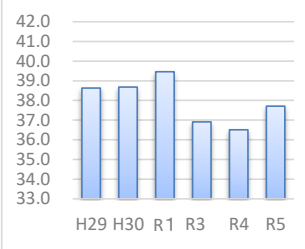


反復横とび(点)

● 男子

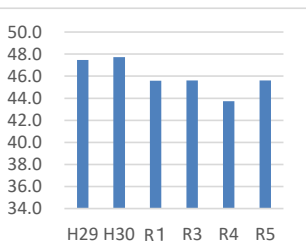


● 女子

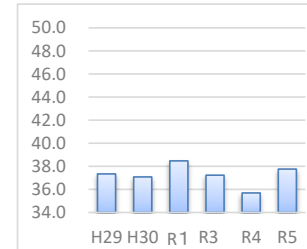


20mシャトルラン(回)

● 男子

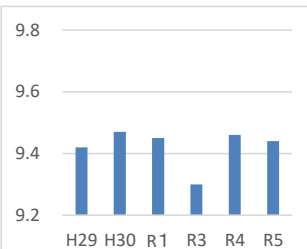


● 女子

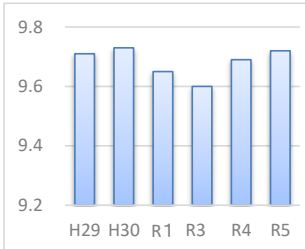


50m走(秒)

● 男子

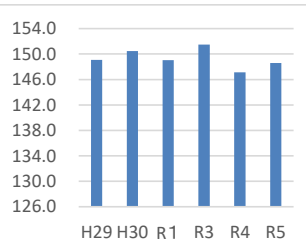


● 女子

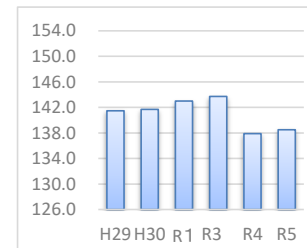


立ち幅とび(cm)

● 男子

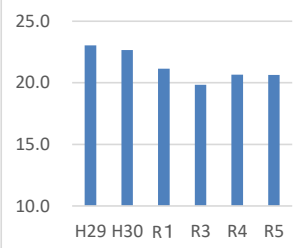


● 女子

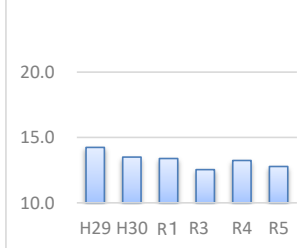


ソフトボール投げ(m)

● 男子

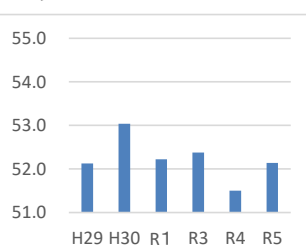


● 女子

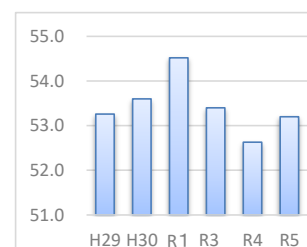


体力合計点(点)

● 男子



● 女子



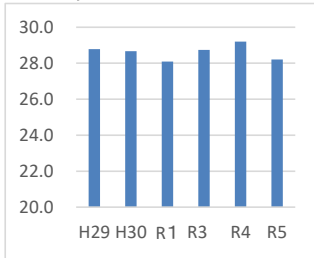
【男子】・向上……「握力」「上体起こし」「反復横とび」  
「20mシャトルラン」「50m走」  
「立ち幅とび」「体力合計点」  
・低下……「長座体前屈」「ソフトボール投げ」

【女子】・向上……「上体起こし」「長座体前屈」  
「反復横とび」「20mシャトルラン」  
「立ち幅とび」「体力合計点」  
・低下……「握力」「50m走」  
「ソフトボール投げ」

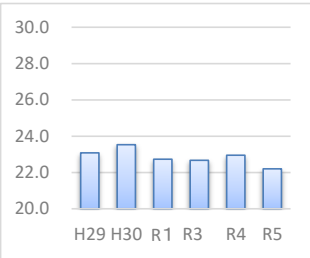
## 【中学校】＜岸和田市の各種目の経年変化＞

握力(kg)

● 男子

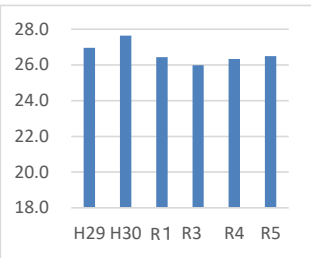


● 女子

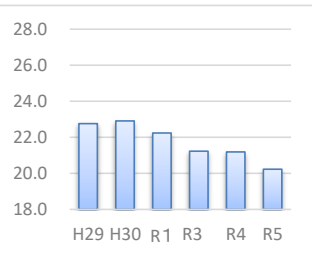


上体起こし(回)

● 男子

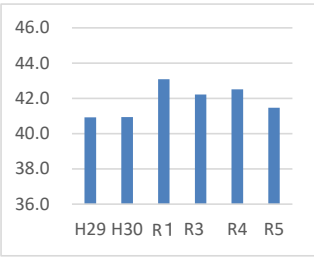


● 女子

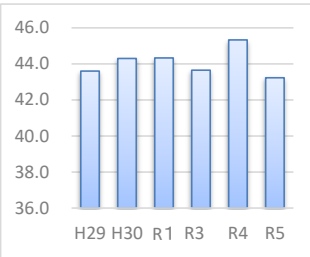


長座体前屈(cm)

● 男子

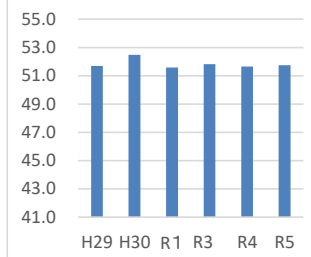


● 女子

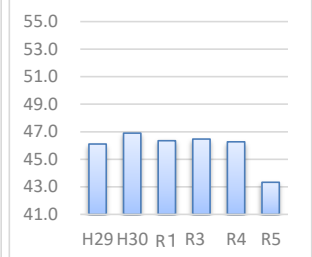


反復横とび(点)

● 男子

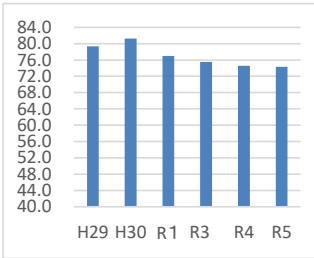


● 女子

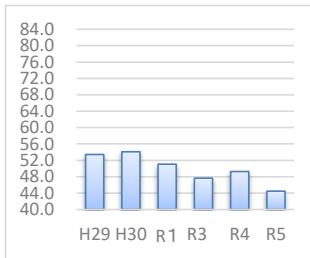


20mシャトルラン(回)

● 男子

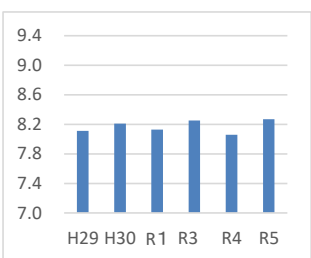


● 女子

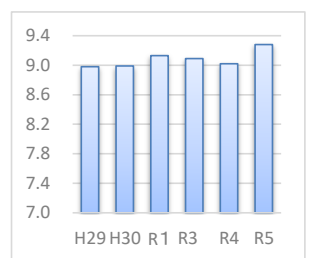


50m走(秒)

● 男子

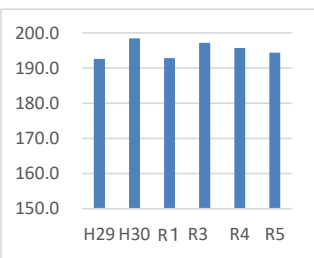


● 女子

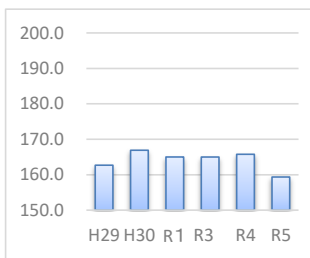


立ち幅とび(cm)

● 男子

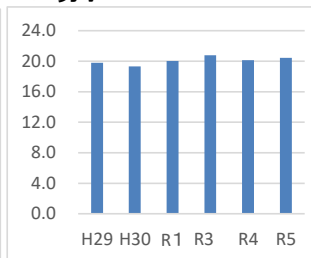


● 女子

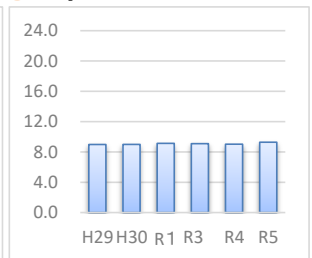


ハンドボール投げ(m)

● 男子

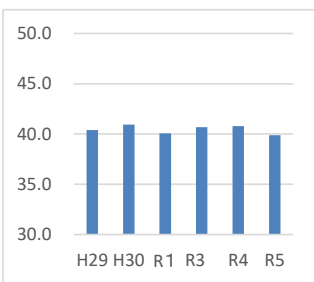


● 女子

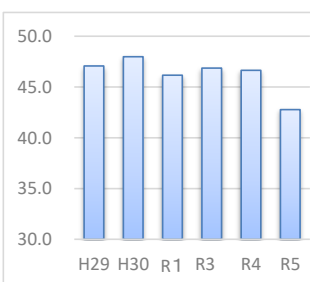


体力合計点(点)

● 男子



● 女子

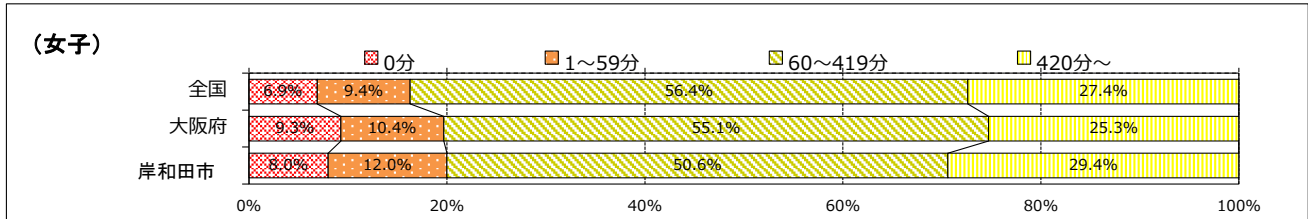
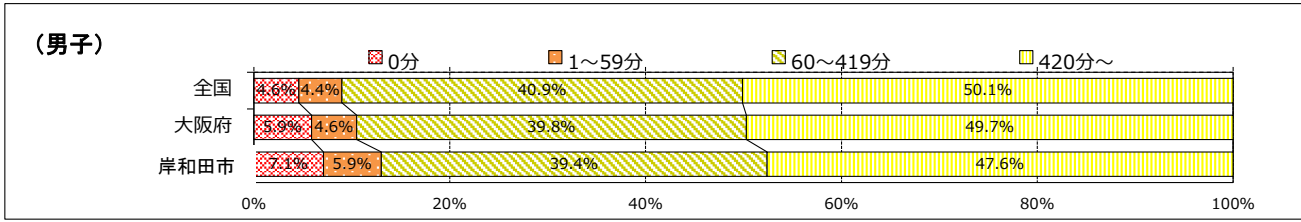


**【男子】**・向上・・・「上体おこし」「反復横とび」「ハンドボール投げ」  
 ・低下・・・「握力」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」「体力合計点」

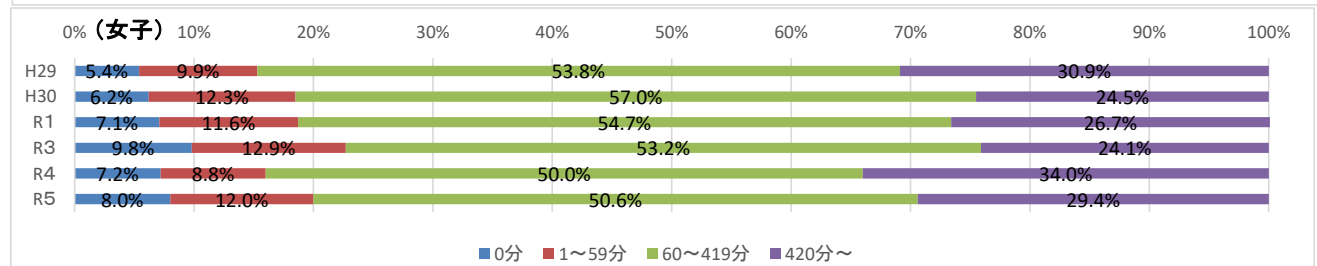
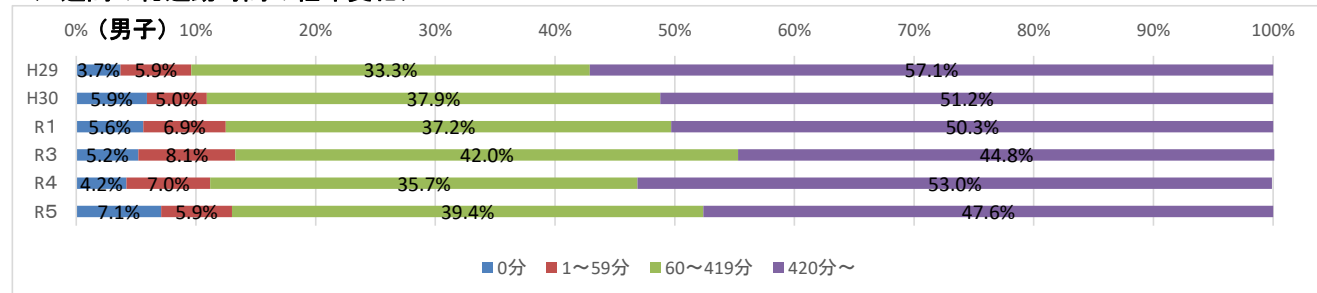
**【女子】**・向上・・・「ハンドボール投げ」  
 ・低下・・・「握力」「上体おこし」「反復横とび」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「体力合計点」

【小学校】

<1週間の総運動時間>



<1週間の総運動時間の経年変化>



・令和5年度の結果より

【男女】1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、全国及び府よりも多い。

【男子】1週間の総運動時間が420分以上の割合の児童は、全国及び府よりも少ない。

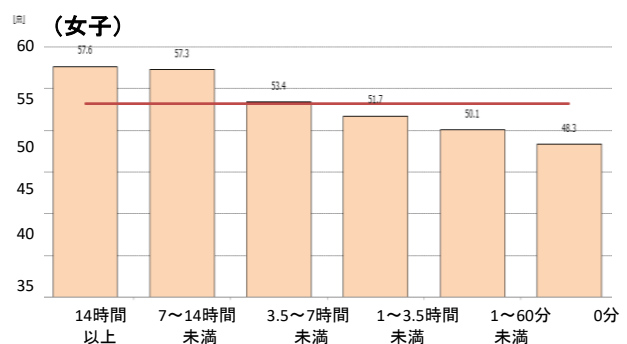
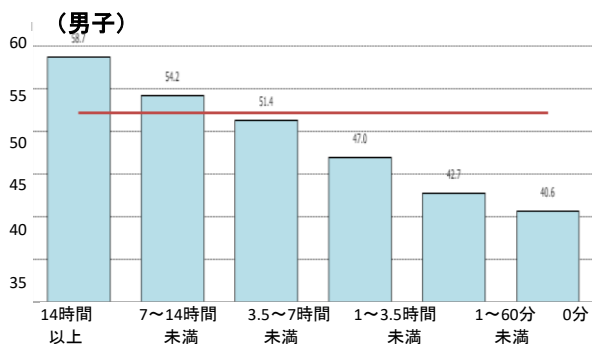
【女子】1週間の総運動時間が420分以上の割合の児童は、全国及び府よりも多い。

・経年変化より

【男女】1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は増加した。

【男女】1週間の総運動時間が420分以上の児童の割合は減少した。

<1週間の総運動時間と体力合計点との関連> —は全国平均値

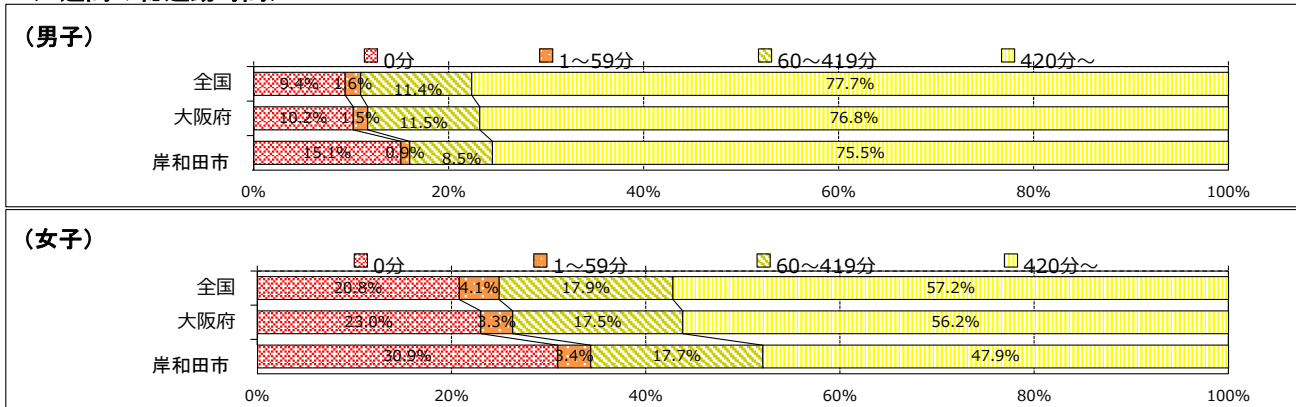


●1週間の総運動時間と体力合計点との関連

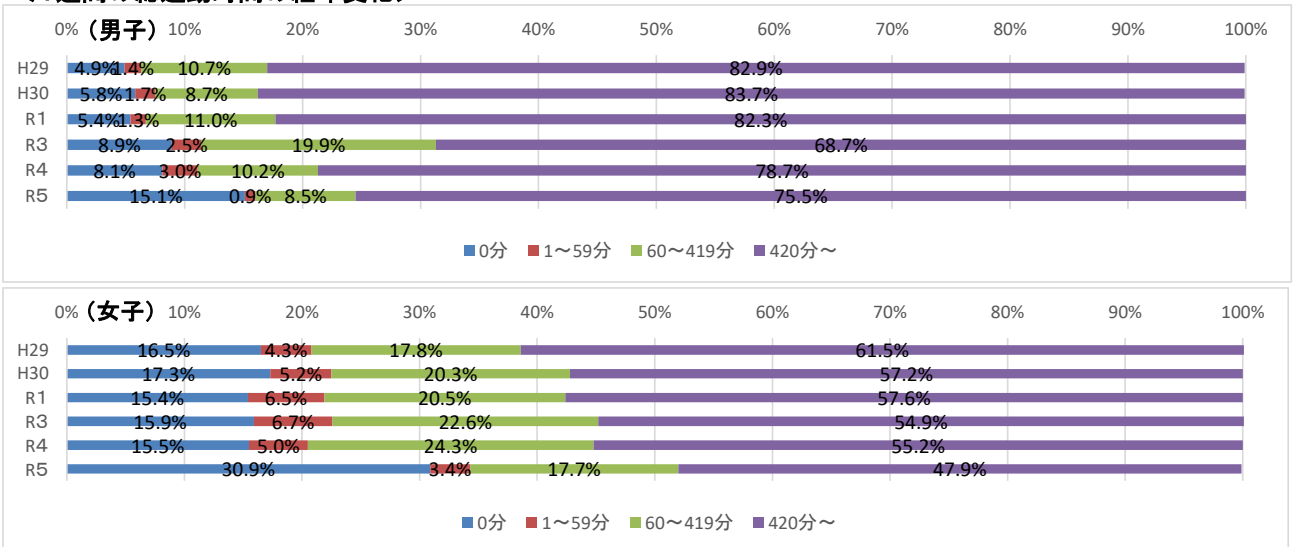
【男女】総運動時間が長くなるにつれて、体力合計点が高い傾向が見られる。

【中学校】

＜1週間の総運動時間＞



＜1週間の総運動時間の経年変化＞



・令和5年度の結果より

【男女】1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合は、全国及び府よりも多い。

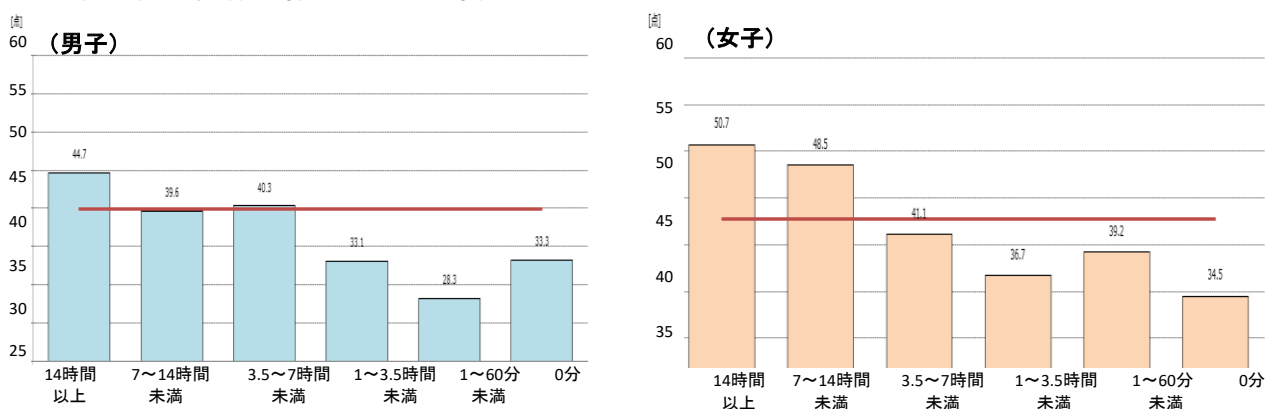
【男女】1週間の総運動時間が420分以上の生徒の割合は、全国及び府よりも少ない。

・経年変化より

【男女】1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合は大幅に増加した。

【男女】1週間の総運動時間が420分以上の生徒の割合は減少した。

＜1週間の総運動時間と体力合計点との関連＞ —は全国平均値

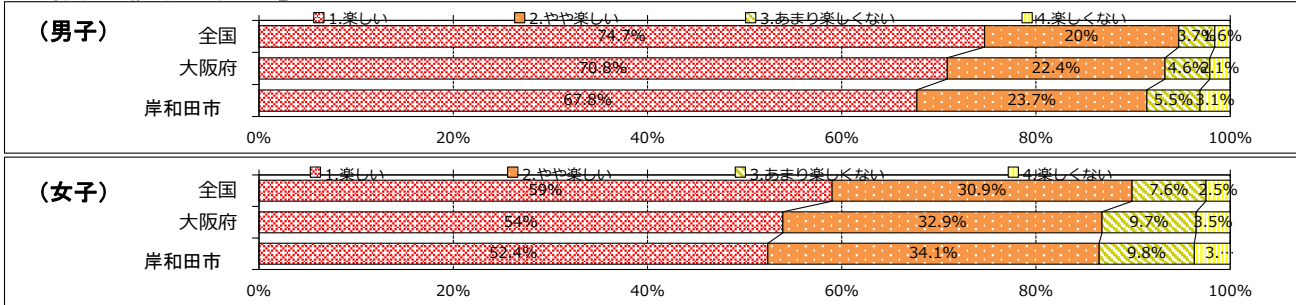


●1週間の総運動時間と体力合計点との関連:

【男女】総運動時間が長いほど、体力合計点が高くなる傾向が見られる。

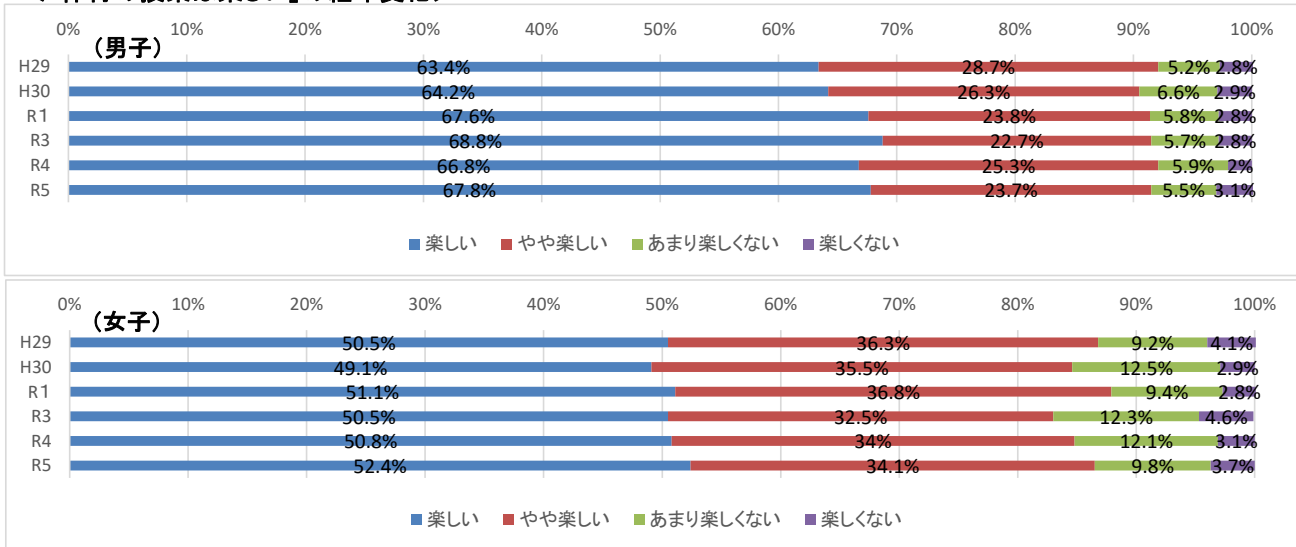
## 【小学校】

### <「体育の授業は楽しい」>

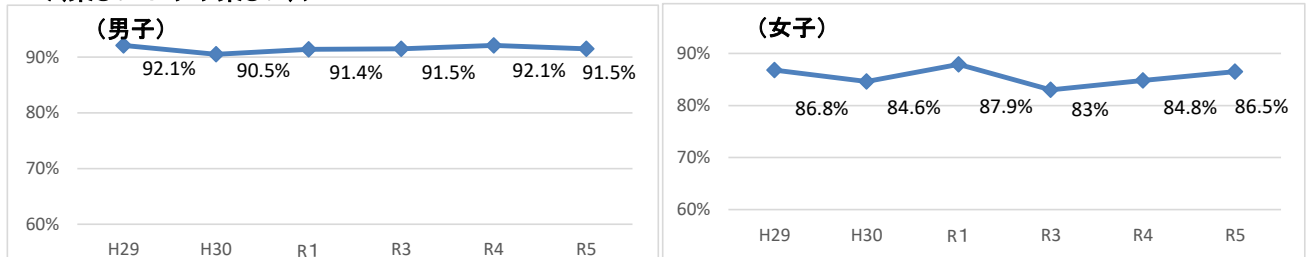


●全国及び府との比較では、【男女】とも「楽しい」「やや楽しい」と感じている児童の割合は少ないが、【男子】は90%以上、【女子】は85%以上の高い割合で体育の授業は楽しいと感じている。

### <「体育の授業は楽しい」の経年変化>

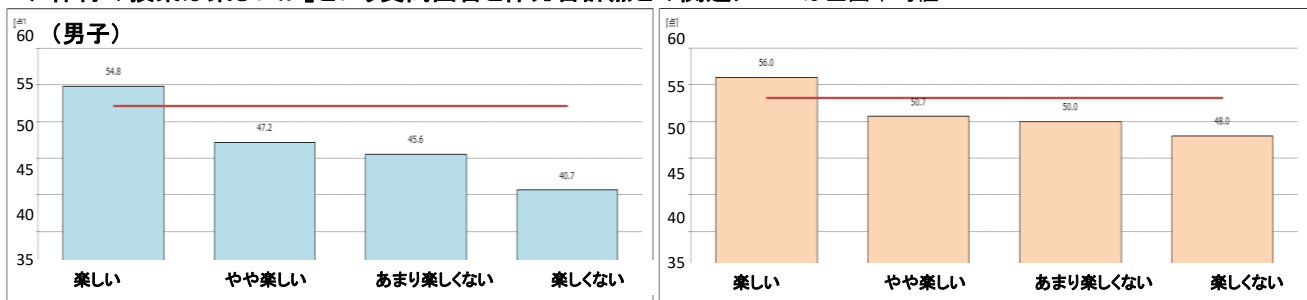


### <(楽しい+やや楽しい)>



●経年でみると、「体育の授業は楽しい」「やや楽しい」と感じる児童の割合は、【男子】は90%以上の高い割合を維持し、【女子】は令和3年度以降、上昇傾向となっている。

### <「体育の授業は楽しいか」という質問回答と体力合計点との関連> —は全国平均値

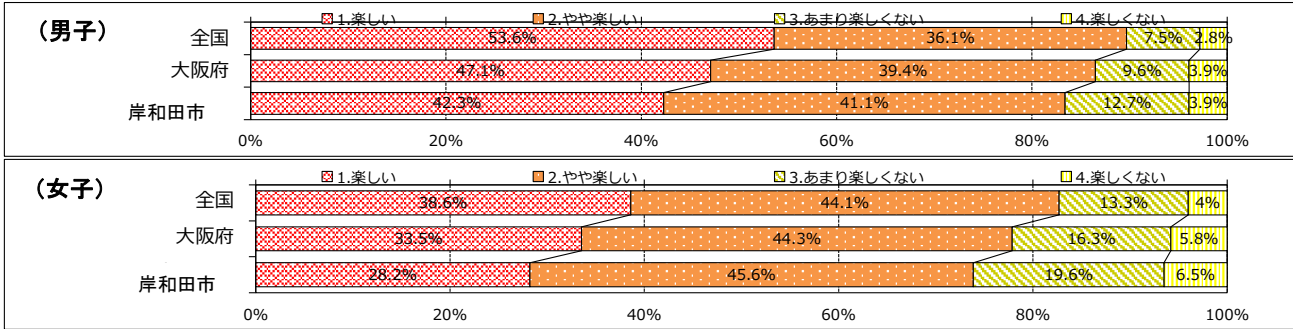


●「体育の授業は楽しいか」という質問回答と体力合計点との関連【男女】「楽しい」「やや楽しい」と回答をした児童が、体力合計点は高い傾向が見られる。



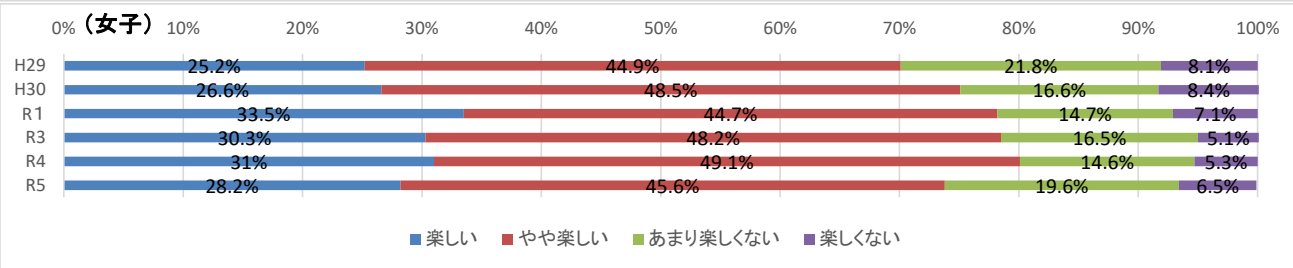
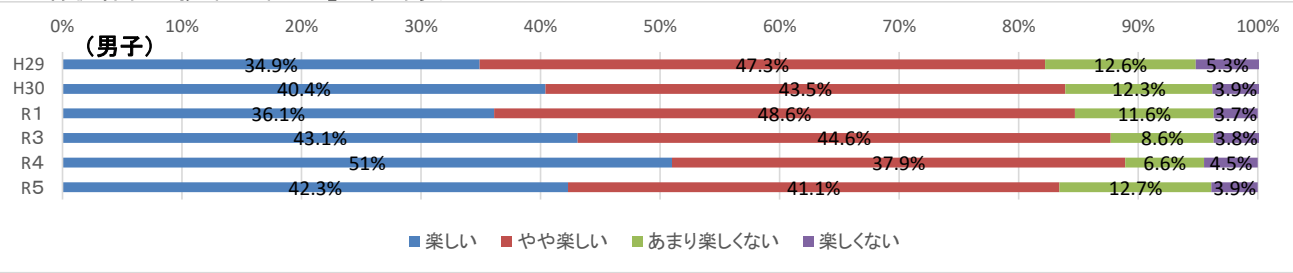
【中学校】

<「保健体育の授業は楽しい」>

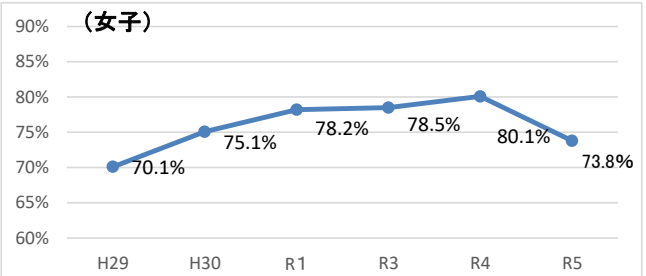
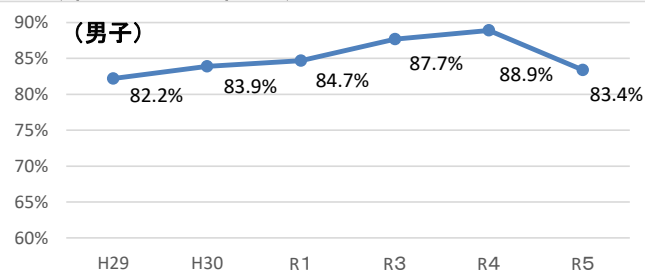


●全国及び府との比較では、【男女】とも「楽しい」「やや楽しい」と感じている生徒の割合は少ない。

<「保健体育の授業は楽しい」の経年変化>

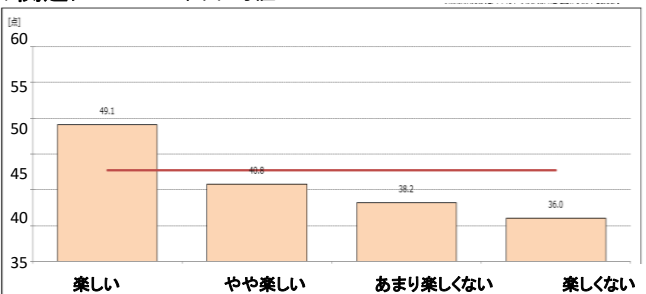
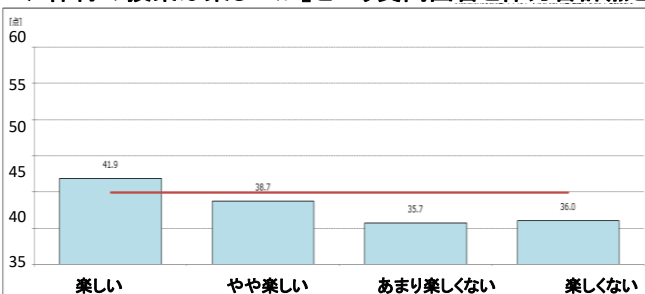


<(楽しい+やや楽しい)>



●令和5年度は令和4年度より【男女】とも「体育の授業は楽しい」「やや楽しい」と感じる生徒の割合は下がった。

<「体育の授業は楽しいか」という質問回答と体力合計点との関連> —は全国平均値



●「保健体育の授業は楽しいか」という質問回答と体力合計点との関連  
【男女】「楽しい」「やや楽しい」と回答をした生徒が、体力合計点は高い傾向が見られる

## 【まとめ】

### 【小学校】

#### <実技に関する調査>

##### ○体力合計点の結果

- ・男女ともに、全国平均よりは低いが府平均よりは高い
- ・岸和田市の体力合計得点は令和4年度と比較すると高くなっている（令和4年度 男子51.5点 女子52.6点）

##### ○各種目の結果

- ・男子の「ソフトボール投げ」は、全国を上回る
- ・女子の「20mシャトルラン」は、全国を上回る
- ・男女の「上体起こし」は、経年では増加傾向
- ・男女の「立ち幅とび」は、全国、府よりも低い

#### <児童に対する質問紙調査>

- ・男女とも、1週間の総運動時間が7時間以上の児童の体力合計点は全国を上回る
- ・令和4年度と比較すると、男女とも1週間の総運動時間が0分～59分の児童の割合が増加し、420分以上は減少している

### 【中学校】

#### <実技に関する調査>

##### ○体力合計点の結果

- ・男女ともに、全国、府平均よりは低い。
- ・岸和田市の体力合計得点は令和4年度と比較すると低くなっている（令和4年度 男子40.7点 女子46.6点）

##### ○各種目の結果について

- ・男子の「上体起こし」、「反復横とび」、「ハンドボール投げ」は、全国を上回る
- ・男女とも「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」は、全国、府よりも低い

#### <生徒に対する質問紙調査>

- ・男女とも1週間の総運動時間が概ね7時間以上の生徒の体力合計点は全国を上回る
- ・令和4年度と比較すると、男女とも1週間の総運動時間が0分～59分の児童の割合が増加し、420分以上は減少している
- ・男女とも、体育の授業が「楽しい」と回答した児童の体力合計点は全国を上回る

## 【今後の取組みについて】

### ●体育授業の充実と教員の授業力向上

- ・日常的に体を動かすことが児童生徒の体力向上につながるため、主体的に体を動かすことやスポーツの楽しさを味わうことができる体育の授業の充実、授業改善の推進
- ・教員へ子どもがスポーツの楽しさを味わうことができる授業づくりの指導助言や参考となる実践事例、効果があった取組みの紹介等の実施
- ・小中学校教員を対象に、大学教授等による楽しさを味わうことができる授業づくりや子どもの体力向上を目的とした実技研修会等の実施
- ・スポーツ庁の分析結果や参考資料等を活用した授業改善等の推進

### ●体力向上支援委員会の充実

- ・体力向上支援委員会を開催し、調査結果の分析を踏まえた、本市の体力の現状と課題の把握や対策等の協議
- ・小学校体育協議会や中学校教育研究会と連携し、市の課題を共有した上で、各校の体力向上の取組みを支援
- ・多くの子どもたちが参加できるようスキップロープチャレンジの内容等を検討し、運動する機会の拡充や運動の習慣化につながる取組みの推進

### ●その他

- ・府事業のICT活用による子どもの体力向上事業（小学3・4年生対象）の参加と活用推進
- ・府事業「トップアスリート小学校ふれあい事業」を活用し、トップアスリート等の出会いによる児童の運動への意欲の向上
- ・調査に必要な備品等の整備、調査実施の正確性向上に向けた指導・助言